

埼玉県議会議員 高木功介県政報告

令和3年度一般会計予算が成立

私が政策提言し令和3年度予算で実行される主な政策 埼玉と世界をつなぐ「ハイブリッド型国際交流事業」

県立学校単位によるオンラインと現地訪問を組み合わせた交流。

※12月定例県議会本会議で政策提言した政策で、選挙公約でもあります。県立高校生が無料で英語漬けの「留学」が実現します。交流先も、提案したシンガポールの予定。

サステナブルな病院等の経営支援

DPCデータ等のデータ解析手法等を学ぶための病院向け研修会を、二次保険医療圏単位で10回開催し、病院を支える職員一人一人の能力向上を図る。

※診療群分類包括評価（DPC）とは、患者の病名や治療内容に応じて診断群分類（1, 572分類）に分け、分類毎に1日当たりの入院費用を定めた新しい医療費の計算方式。これ活用することで、医療費の均衡化を図れます。慶應義塾大学大学院にての私の研究の結果、積極的に埼玉県に導入を令和2年度決算委員会で働きかけました。



後期研修医獲得定着事業

県外大学病院からの指導医及び専門医を積極的に受け入れ。

※研修医は優れた指導医や症例を求めて研修医先を決めるため、埼玉県に優れた指導医を招聘することを令和2年度決算委員会などで積極的に働きかけました。

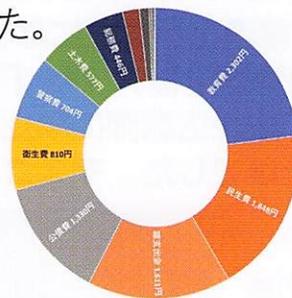
災害時に活動できる薬剤師災害リーダーの養成

災害時に医薬品の供給リーダーとなる薬剤師に対して必要な知識や実技を習得させるための研修会を修了した薬剤師に県発行の修了証や認定書を交付し、その責務を讃える。

※災害派遣薬剤師リーダーに認定された薬剤師が日々誇りを持てるように、認定書を交付するよう昨年の予算委員会で提言し実現しました。

令和3年度一般会計予算2兆1200億円を 一万円で表すと・・・

新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越え、人口減少社会においても本県が持続可能な発展・成長を続けるためには、感染症対策など喫緊の課題に的確に対応していく予算になっています。



埼玉県のマスコット「さいたまっち」

「台湾のWHOへの参加を求める意見書」可決に尽力しました。

埼玉県議会では「新型コロナウイルス感染症対策の感染拡大防止対策が世界最高水準と評価されている台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書」を12月19日に全会一致で可決し、衆院議長、参院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣に提出しました。



向明德台北駐日経済代表所政務部部長、林月理日本中華連合総会会長らと

全国でも数例目、首都圏では埼玉県議会が初めての提出になります。高木事務所は意見書を提出・可決するため台北駐日経済文化代表処(大使館に相当)の幹部外交官らを県議会に招聘するなど当初から関わっており、成立に尽力してまいりました。

済生会栗橋病院・羽生総合病院などを視察しました。

新型コロナウイルス患者受け入れを積極的に行っている2つの病院の治療体制を病院長の案内で視察しました。診療科を超えて、医師・看護師がローテーションで従事することで負担軽減をし、他の通常医療が維持できるように努力している体制が重要であると認識しました。

また、慶應義塾大学大学院の私の1つ先輩の横手幸太郎千葉大学病院長と意見交換もしました。コロナ基幹病院で有名な同病院も同様の対策をし、成功している旨をはじめ病院の運営・経営全般も詳しく伺いました。

これらの知見を埼玉の医療体制構築に積極的に活かしてまいります。



専用病棟を国・県の補助金で建設(羽生総合病院)

新型コロナウイルス ワクチン接種の予定

埼玉県では、さいたま市に4月6日の週に第一便として972人分の高齢者用ワクチンを分配します。それ以降、高齢者の人口規模、第三波(12月から2月)の高齢者人口に占める陽性者の割合を反映し、数式計算して配布します。5月以降に本格的に接種が開始される予定です。接種券は順次郵送されます。

浦和区では、近隣医療機関や接種会場(浦和区役所・パインズホテルなど)で接種を受けられる予定です。接種料金は全額、日本国が負担し、無料で受けられます。



埼玉県のTikTokアカウントを停止させました。

現在LINEの情報流出が問題になっています。埼玉県では誕生150周年記念事業宣伝のため昨年6月に中国の動画投稿アプリ「TikTok」と契約を結びましたが、安全保障上、危険と判断し、即、県庁広聴広報課に中止を申し入れ、中止にさせました。こうした行動を起こした県議会議員は私だけでした。マスコミがTikTokの問題性を報道したのは、その後でした。

埼玉県議会議員 高木功介 Profile



菅義偉内閣総理大臣と
(内閣広報室提供)

昭和51年2月、埼玉県出身、45歳。私立本郷高校、筑波大学国際総合学類卒業。筑波大学大学院人文社会科学研究科修了。博士(国際政治経済学)取得。現在、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 ExecutiveMBAプログラム在籍。筑波大学研究員を経て外務省入省。国際法局、総合外交政策局に勤務。自民党埼玉県連の一般公募に合格。19670票を戴きトップ当選(埼玉県議1期目)。所属委員会 文教委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会 編著書 『日本外交の150年 - 幕末・維新から平成まで』(出版 日本外交協会) 趣味 テニス、サッカー(浦和レッズ)観戦、クラシック音楽鑑賞 座右の銘 「君子 行くに怪に由らず」(論語「雍也」) 家族 妻(医師、都内の病院でコロナ医療に従事)、母 身長 175センチ 体重 68キロ Facebook Twitterで県政報告中